

# 志賀直哉ゆかりの資料をはじめとする 山田家コレクション約200点が市に寄贈



▲志賀直哉油彩画(1945年)



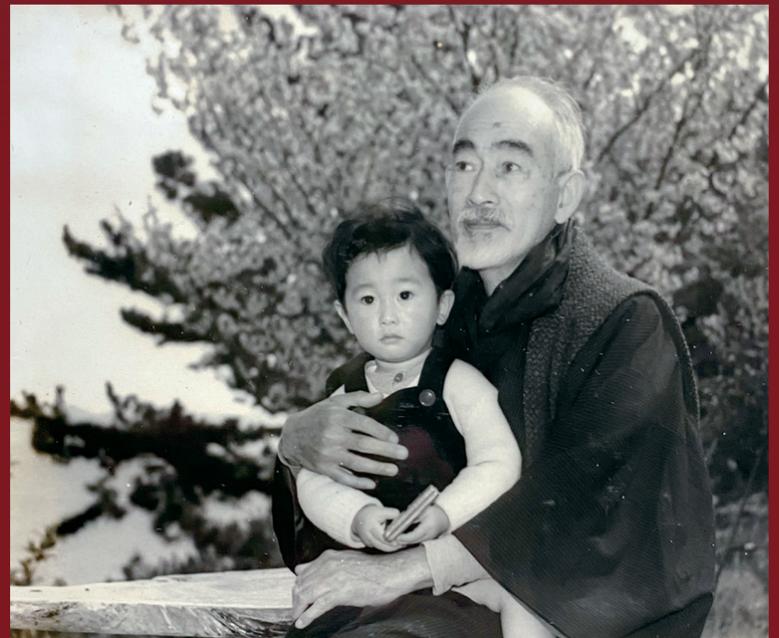
▲志賀直哉書



▲バーナード・リーチ「緑釉土瓶」

志賀直哉は2021年、没後50年を迎えます。寄贈者の山田裕さんは志賀直哉の孫にあたる方で、志賀直哉について積極的に発信している白樺文学館の活動に共感し、山田家資料を活用して、より多くの方に志賀直哉の魅力を知ってもらいたいという思いから今回寄贈されました。寄贈品には志賀直哉が描いた油彩画や書などがあります。また、山田家の資料からは、鉱山学者であり、実業家でもあった山田家の政財界の人々との深いつながりや日本の歴史を垣間見ることができます。

現在、白樺文学館では、山田家コレクションの寄贈を受けて、志賀直哉に関わる資料の展示を企画しています。初公開資料も多数ありますので、ご期待ください。



▲志賀直哉と山田裕(資料寄贈者)

## 【ツイッターはじめました！】

4月1日から白樺文学館、杉村楚人冠記念館でツイッターを始めました！休館中も今後の展示やイベントなどを発信しますのでフォローお願いします♪

◎白樺文学館アカウント @abikoshirakaba

◎杉村楚人冠記念館アカウント @sojinkan1872

☎ 教育委員会文化・スポーツ課 ☎7185-1583

## 【千葉テレビ放送「シャキット！あびこナビ」】

毎月1回市の魅力を発信しています。今月は、市に寄贈された志賀直哉ゆかりの資料【山田家コレクション】を紹介し  
**中止**ます。ぜひご覧ください！

放送日時 4月24日(金)午前6時55分ごろ～

☎ あびこの魅力発信室・内線235

## あびこ50年物語

### —志賀直哉邸跡 書齋—

「小説の神様」と呼ばれる志賀直哉は大正4(1915)年から大正12(1923)年まで我孫子に住みました。在住時には『和解』『城の崎にて』などを執筆しています。



現在、志賀直哉邸跡(緑雁明緑地)に残る書齋は、大正10(1921)年に志賀が設計し建てたもので、名作『暗夜行路』前篇はここで書かれました。この書齋は志賀が我孫子から去った後に近隣の家に移築されましたが、市民から保存要望を受けて、昭和63(1988)年、この地に再移築しました。内部は六畳間で、網代を貼った船底天井、木質を生かした荒々しい仕上げの数寄屋風で、志賀の好みを良く表すものとして市指定文化財となっています。

## 図書館員が選ぶ この一冊

29

『燃えよ剣』上・下 司馬遼太郎／著 新潮文庫

混沌とした幕末に結成された新選組、副長土方歳三の生きざまを描く。

歳三は武州多摩の農民の子として生まれたが武士になる決意を固めていた。喧嘩が強く、戦略家、規律に厳しいその姿勢が幕府を守る新選組を形成していく。しかし、時代は倒幕へと加速し、新選組は解体、局長近藤勇は処刑される中、歳三は北の大地で再起を図るのだが…。

幕末から明治維新への出来事は、150年前の日本で起こった史実である。著者が描く歳三は、物事への対処や統制の仕方などさまざまな場面で人間性が伝わり、読者を魅了する。敗者である新選組が今なお人気が高いのも納得できる。



## 消費生活センターだより



### 新型コロナウイルスに 便乗した悪質商法に注意！

新型コロナウイルス感染症に関連した相談が、全国の消費生活センターなどに寄せられています。

「マスクを無料送付するというメッセージが届いた」「新型コロナウイルスの流行拡大の影響で金の相場が上がるとして、金を買う権利を申し込むように言われた」「コロナウイルスに効くと言われ、浄水器の購入を勧められた」「行政機関を装って個人情報を聞き出そうとされた」

心当たりのない送信元から怪しいメールが届いても、反応しないようにしましょう。URLなどをクリックすると、偽サイトに誘導され、不正なアプリがインストールされたり、個人情報を抜き取られたりする可能性があります。新型コロナウイルスに便乗した悪質な勧誘を行う業者には耳を貸さないようにしましょう。

相談受付日時 ☎ 消費生活センター ☎7185-0999  
平日、第2・4土曜日 午前10時～午後5時30分  
アビクオーレ2階(イトーヨーカドー我孫子南口店)

【新型コロナウイルス感染症関連情報を市ホームページで随時更新中】

新型コロナウイルス感染症に係る市の対応、公共施設の臨時休館、中止・延期イベント一覧などの情報を掲載しています。